



2027年3月期 第1四半期 決算補足資料

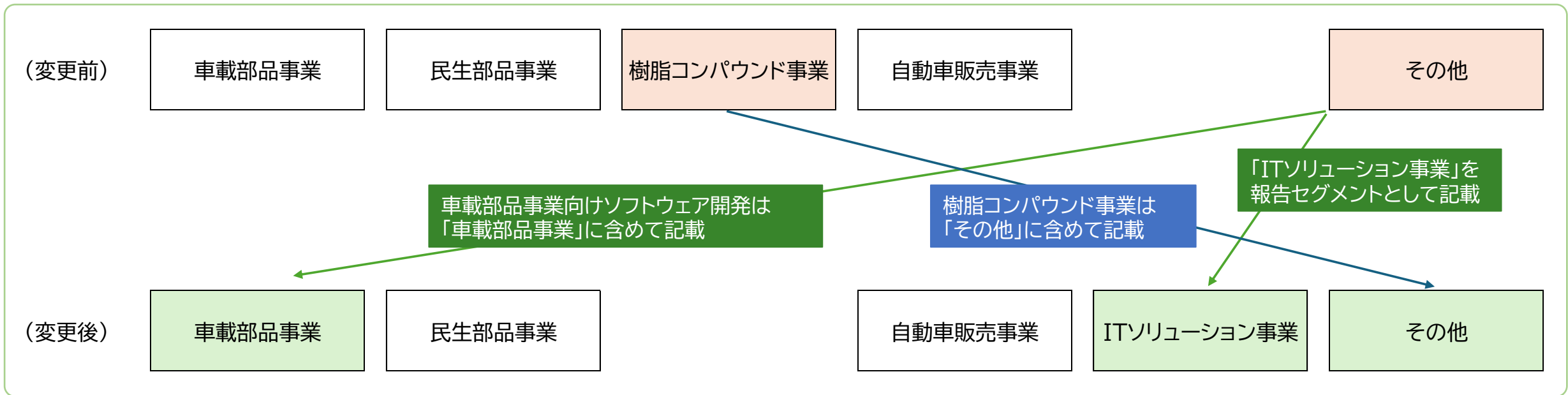
日本精機株式会社(証券コード:7287)

2026年8月7日

セグメント情報等

- 当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「ITソリューション事業」を報告セグメントとして記載
- 「その他」に含めていた車載部品事業向けソフトウェア開発を「車載部品事業」に含めて記載
- 報告セグメントとして記載していた「樹脂コンパウンド事業」については、「その他」に含めて記載
- 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載

報告セグメントの区分変更



2027年3月期 第1四半期 業績ハイライト

実績

ヘッドアップディスプレイの販売増加および二輪車用計器の販売堅調により、増収増益。また、為替が円安に推移したことも増収に寄与（為替影響+55億円）

1. 売上収益 832億円（前年同期比 +9.2%） 営業利益21億円（前年同期比 +44.0%）
 - ヘッドアップディスプレイ(HUD)の新機種立ち上げおよび販売増加が増収に寄与
 - 二輪車用計器は、グローバルサウスにおいて引き続き販売堅調
 - 営業利益は、HUD増収効果およびコスト管理の徹底が寄与し、増益
2. 通期計画に対する進捗率
 - 売上収益 26.0% 営業利益 15.7% 親会社の所有者に帰属する当期利益 15.2%

予想

2027年3月期 通期業績予想は修正なし

1. 通期業績予想は修正なし
 - 売上収益 320,000百万円 営業利益 14,000百万円 親会社の所有者に帰属する当期利益 10,000百万円
2. 年間配当は前期より10円増配し、90円を予定（中間: 45円 期末: 45円）

2027年3月期 第1四半期 連結業績

	第1四半期			通期計画	
	2026年 3月期 1Q実績	2027年 3月期 1Q実績	前年 同期比	2027年 3月期	進捗率
単位:百万円					
売上収益	76,224	83,252	+9.2%	320,000	26.0%
売上総利益	10,236	11,652	+13.8%	-	-
売上総利益率	13.4%	14.0%	-	-	-
営業利益	1,522	2,191	+44.0%	14,000	15.7%
営業利益率	2.0%	2.6%	-	4.4%	-
税引前四半期利益	1,875	3,206	+70.9%	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益/当期利益	701	1,517	+116.2%	10,000	15.2%

為替:1ドル=159.57円 (前期:144.59円)

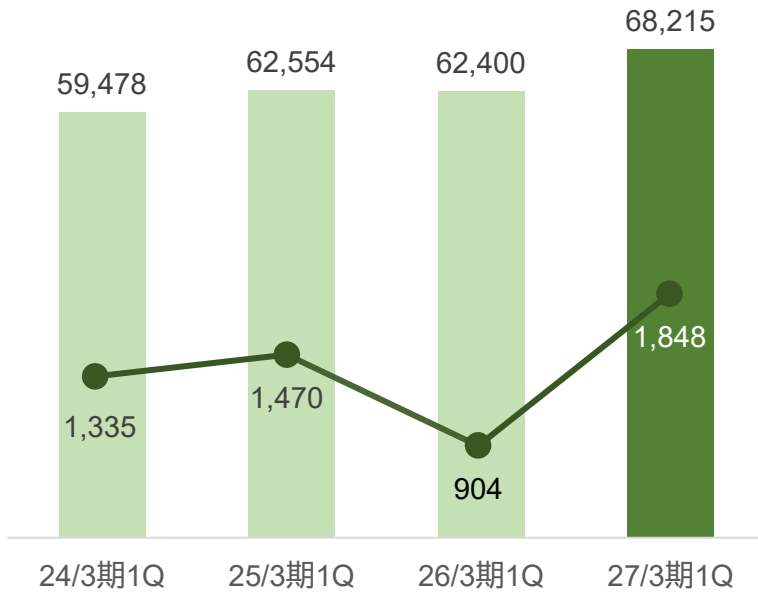
事業セグメント別決算概要 1

*車載部品事業の24/3期1Q、25/3期1Qの売上収益、営業利益はセグメント変更に伴う遡及修正を行っていない参考値です

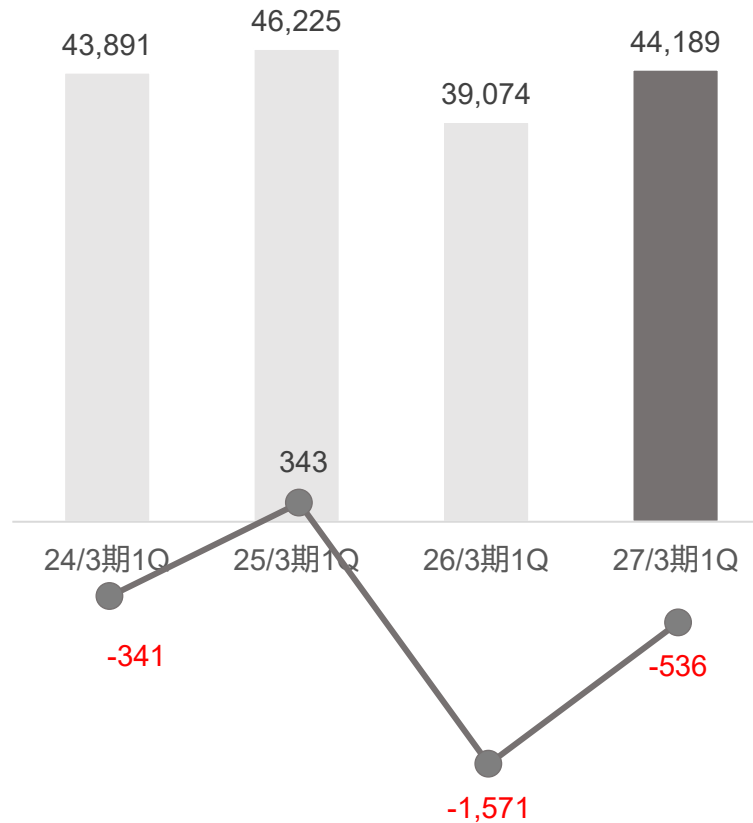
- 四輪車用計器 : HUDの新機種立ち上げおよび販売増加に加え、コスト管理の徹底により増収増益
- 二輪車用計器 : グローバルサウス(アセアン、インド、ブラジル)における販売が引き続き堅調に推移し、増収増益

(単位:百万円)

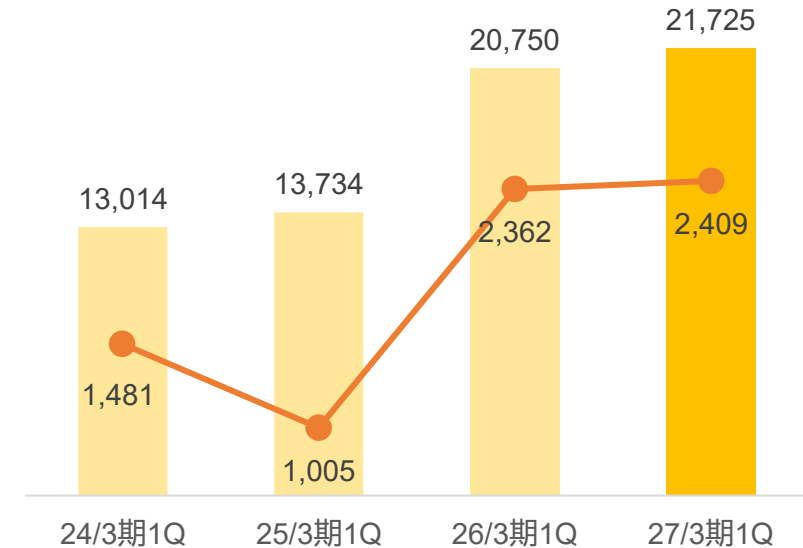
車載部品*



四輪車用計器



二輪車用計器

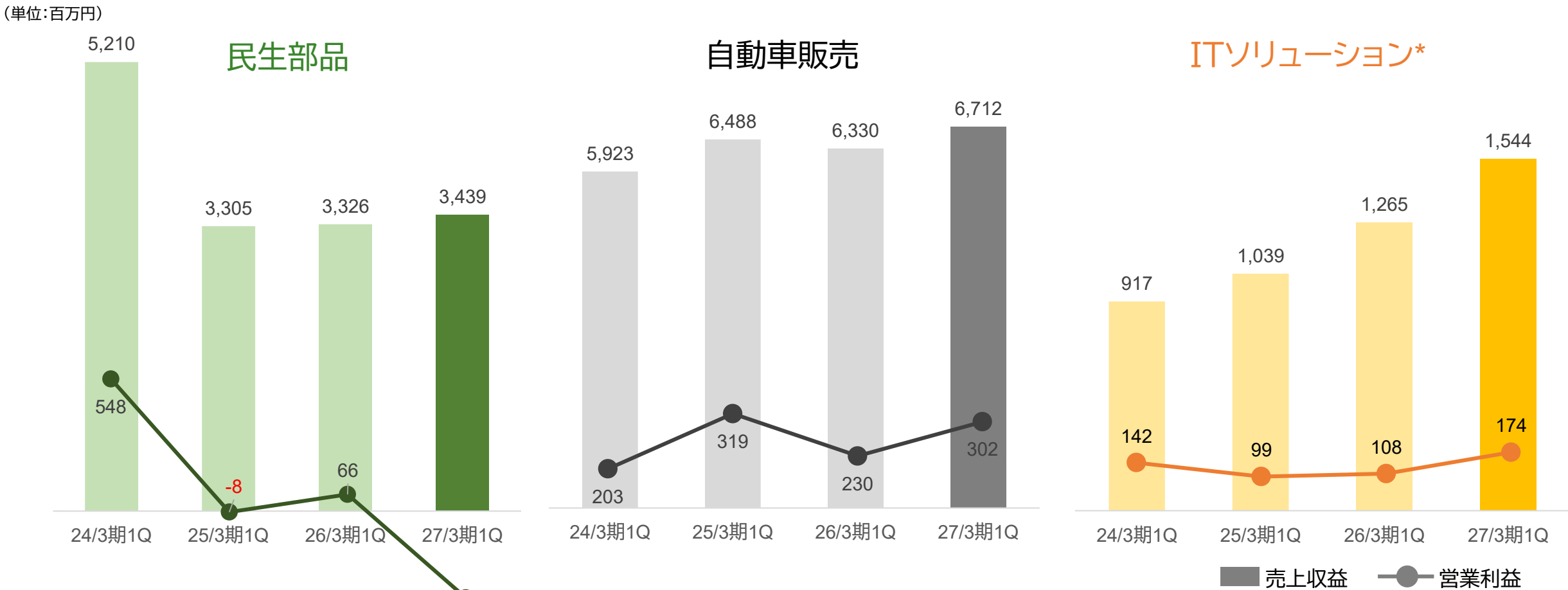


■ 売上収益 ● 営業利益

事業セグメント別決算概要 2

*ITソリューション事業の24/3期1Q、25/3期1Qの売上収益、営業利益はセグメント変更に伴う遡及修正を行っていない参考値です

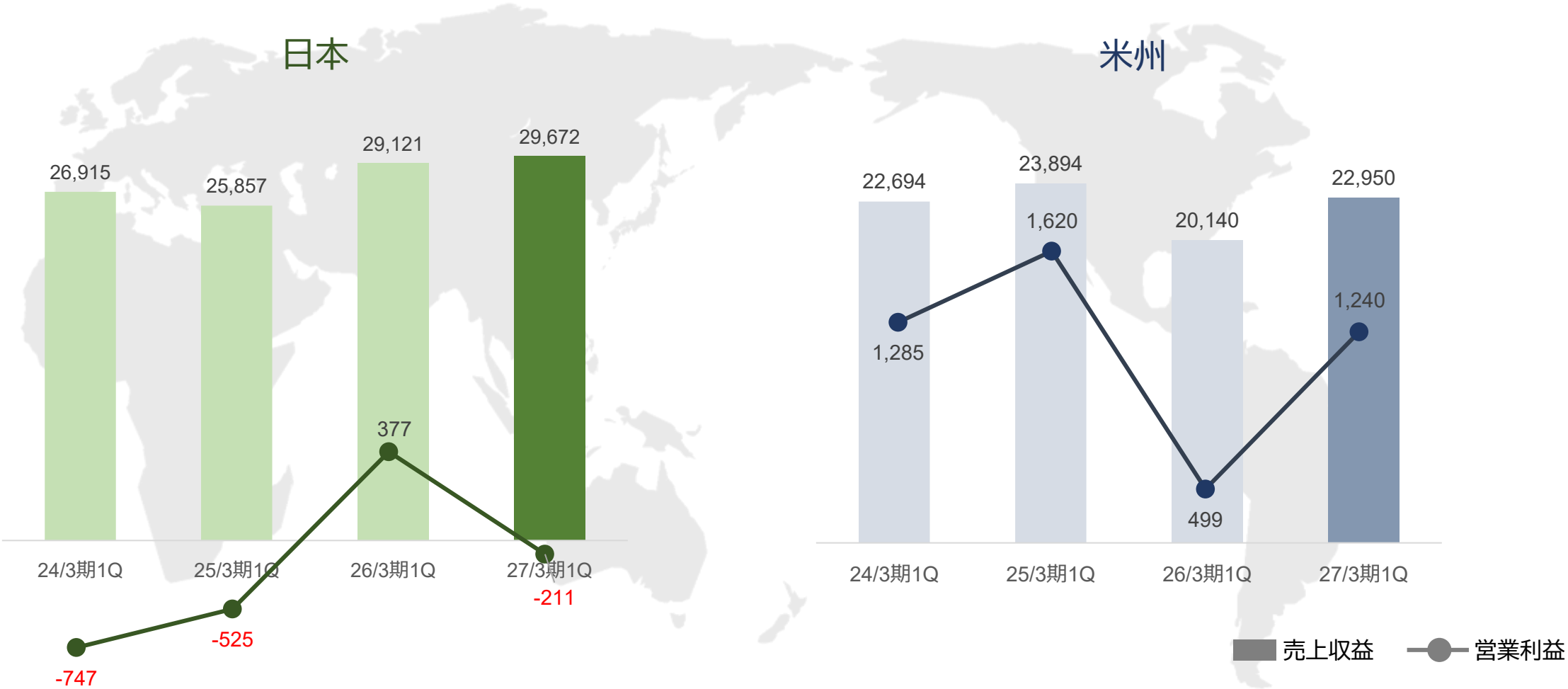
- 民生部品：空調・住宅機器コントローラー等の販売は増加も、円安による製品輸入コストの増加が響き、減益
- 自動車販売：新車・中古車の販売増加が寄与し増収増益
- ITソリューション：民間企業向けの売上増加により増収増益



地域別決算概要 1

- 日本：HUDの新機種立ち上げおよび販売増加により増収も、関係会社向けの部品販売減少や国内向け二輪車用計器の減少などが響き、減益
- 米州：前期1Qに関税影響で減少した主要顧客(ステランティス・GMなど)向け販売が回復し、増収増益

(単位:百万円)

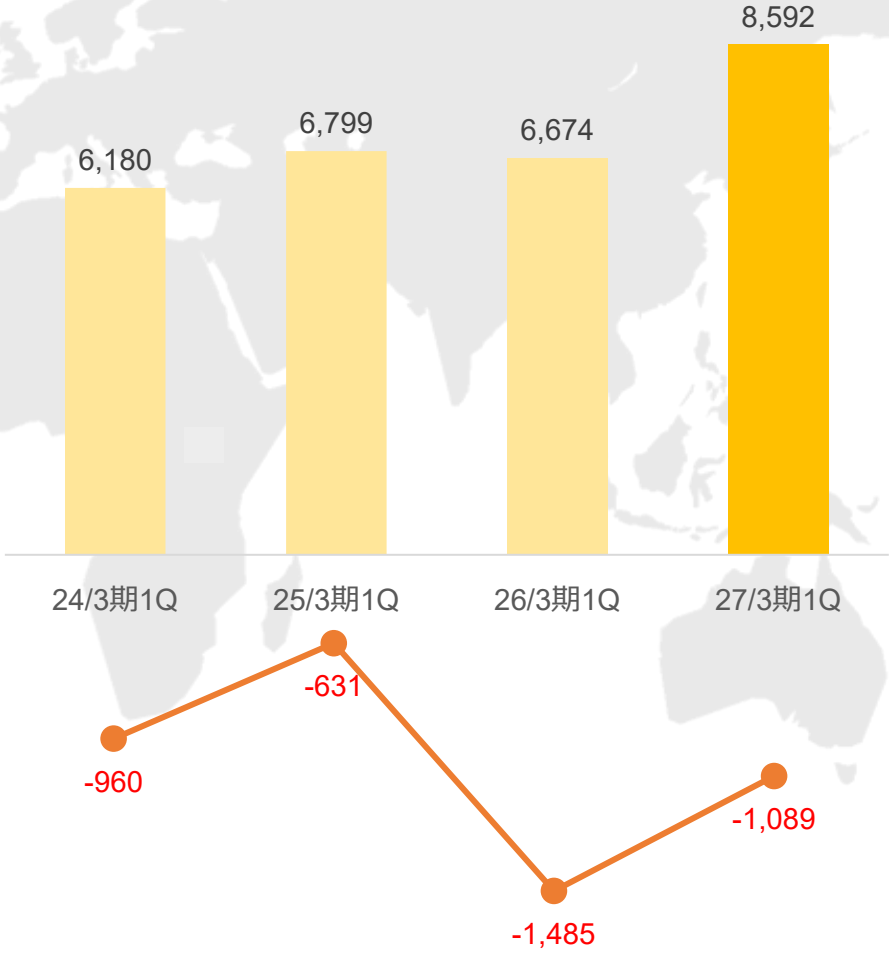


地域別決算概要 2

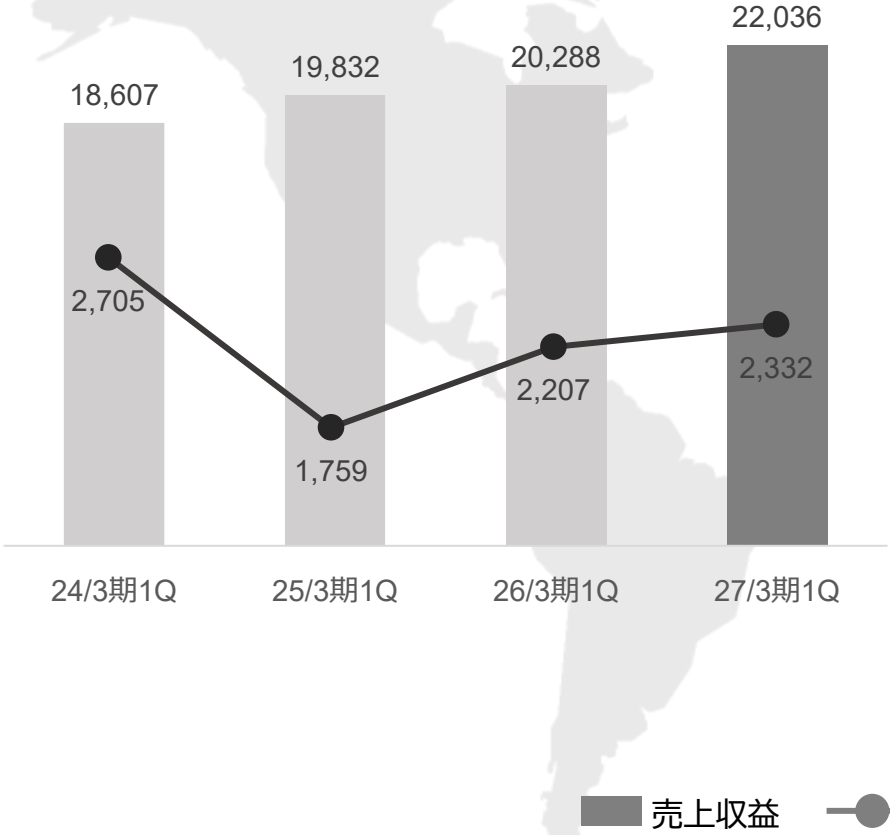
- 欧州 : HUDの販売増加により増収、赤字幅縮小
- アジア : 中国での四輪車用計器は苦戦したものの、アセアン・インドでの二輪車用計器が堅調に推移し、増収増益

(単位:百万円)

欧州



アジア



■ 売上収益 ● 営業利益

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。